

**BREXITの衝撃～イギリス居住者の感想  
生活風景**

2019/12/19  
関屋宏彦

# 家族のイギリス居住歴と社会環境

- 本人：1989-92と2013以降の通算9年居住。92年永住権取得
- 妻、長女と次女とも、音楽指導・演奏；95以降、イギリス復帰
- 孫(小5, Oxford在住), クラスメートのうち、両親ともイギリス人は25%, 混血のイギリス人25%, 残りは外国人
- 隣人夫婦：インド人・ポーランド人、ギリシャ人・インド人
- 選挙権はなし(国民投票の資格は、18歳以上のイギリス人、アイルランド共和国国民および英連邦の国民のイギリス居住者)
- 社会的ベネフィット：医療費無料。65歳以上は、全国の都市部の交通費無料。子供手当や大学授業料はイギリス人と同等。
- 他民族・多文化国家：混血が進むルツボ型(アメリカはサラダボール型という人あり)

都市計画により、整然としたロンドンの住宅街。道路側の表には駐車スペースがあり、裏手は共有のバックヤード配置されていて、ゆとりのある空間を感じる。



## Oxford中心部の街並み、名門オックスフォード大学が位置している



ロンドンの街のフードセンター、多くの国の食料品が扱われている



青空チェスをする孫(左手前)、後方の見物人は移民してきた人達



## チェスの競技会場(左下)。優秀者の表彰、人種多様化の一例

